

拠出金名: 国連中央緊急対応基金 拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				113,000千円	
国際機関等名	中央緊急対応基金 (国連人道問題調整部(OCHA)に事務局あり) (英文名称・略称) Central Emergency Response Fund (CERF)				
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)	国連専門機関	その他
所管官庁担当課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	113,000	1,000		1(ドル) = 113 円	100
平成19年度	0	0		-	-
平成18年度	0	0		-	-
当該拠出金の目的・用途等		大規模災害発生時などにおける人道支援			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)(ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注1) (%)		
1位	英国	80,239	17.7	当該年度の収入 453,171,155	
2位	オランダ	63,900	14.1	当該年度の支出 428,824,495	
3位	スウェーデン	56,264	12.4	次年度への繰越 24,346,660	
4位	ノルウェー	55,259	12.2	会計検査機関名	
5位	スペイン	45,532	10.0	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
日本 18位 0.5%(OCHAから1169米ドル移管したため、計2169千ドル)				(現在の構成員の出身国:仏、中、南ア)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国連中央緊急対応基金(CERF)は我が国や主要ドナーによる従来型の援助では手が届きにくい途上国・地域への支援をカバーする補完するもの。CERFへの拠出を通じて、大規模自然災害や紛争の発生に際して人道支援の緊急初期対応、ドナーの関心が低い「忘れられた危機」国・地域への対応が可能となる。また、CERFへの拠出により、我が国の人道支援体制が一層強化されるとともに、国際社会の人道支援における対応能力強化にも貢献するものと評価。 合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 CERFの前身である中央緊急回転基金は、90年代初頭のクルド難民危機に対する対応が遅延したとの反省に鑑み、一定額の資金をプールするローン型の回転基金として存在していたが(1992年の国連総会決議に基づくCentral Emergency Revolving Fund)、ドナーからの十分な資金が集まらず、また、各機関が返済義務を負うため基金の機動的な運用が困難であったため、人道支援改革の柱の一つとし、従前のローン型の回転基金を改組する形でCERFが設立された。CERFが設立されて2年が経過したが、緊急対応の迅速性を向上させるべく緊急事態の発生から可能な限り早期に拠出を行うこと、マネージメント強化の一環として人道調整官の役割の強化、CERF事務局の機能強化として事務局職員数の増員等の議論が続けられている。					
邦人職員数(注2)	18人	当該機関の職員数及び		587人	
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体に占める率		3.1%	
邦人職員が占めている主要な幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
CERFは国連人道問題調整部(OCHA)内部に設立された新たな部門であるため、OCHAに対して邦人職員の送り込みについて要請していく。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) CERFはOCHAの一部であることから、OCHAと同じ数字を用いた。